日本共産党　前文京区議会議員

いたくら美千代（みちよ）レポート

いたくら美千代のマーク

文京区水道2-10-9
☎3943-7915

区役所
☎5803-1317　FAX3811-3197
http://www.jcp-bunkyokugidan.gr.jp/

どんなことでもお気軽にご相談ください

法律・生活相談

毎週木曜日
午後2時～4時
いたくら美千代事務所にて
（水道１丁目）
☎ 3943-7915（自宅）
事前に電話でご予約下さい。

江戸川橋駅
地上へのエレベーターついに設置決まる

江戸川橋駅エレベーター設置運動のあゆみ

1991年	3月7日	江戸川橋駅で署名開始。
	14日	営団地下鉄と交渉。署名661名提出。①
	4月12日	江戸川橋駅で署名。
	26日	営団地下鉄と交渉。署名389名提出。
	6月10日	営団地下鉄本社へ陳情。
	7月23日	運輸省交渉に行く。
	12月9日	宣伝・署名活動。
1992年	8月5日	運輸省へ交渉。
	10月28日	江戸川橋駅でチラシを配布し宣伝活動。
	11月5日	文京区と交渉。
1994年	4月26日	営団地下鉄本社と交渉。
1996年	2月1日	営団地下鉄本社と交渉。
	7月9日	営団地下鉄本社と交渉。
1997年	3月5、12、13、17日	江戸川橋駅で宣伝・署名活動。
	5月28日	「営団地下鉄江戸川橋駅にエスカレーター等の設置を求める会」が文京区に4,904名の署名提出。
1999年	5月26日	金子満広衆議院議員とともに運輸省と交渉。②
	6月3日	文京区長に要望書提出。③
2002年	7月3日	営団地下鉄本社と交渉。
	12月12日	営団地下鉄本社と交渉。

※その他議会の中でも要求してきました。

'91.2月

ここから運動がはじまりました

地上出口となる住友不動産再開発ビル前

地域の皆さんと運動を始めて足掛け14年。長い長い道のりでした。

営団地下鉄交渉の際、職員からも「きついなこの駅はといつも感じていた」と。まして高齢者や障害ある方々はなおさらです。

みんなで知恵を出し合い、区内の他の地下鉄駅の階段数の調査、その疲労度を数値で表すなど科学的根拠も示し、営団だけではなく、運輸省や、初当選した煙山新区長にも要請しました。

設置場所が二転三転して、未来永劫に無理かと思われた時もありましたが、みなさんの声援に励まされ、粘り強く運動を続けてきた結果、ついに来年８月末に完成予定です。

２学期から全小学校も冷房化

昨年中学校へのクーラー設置に続き、今年は建築中の窪町小、すでに設置されている本郷小をのぞくすべての小学校にクーラーの設置工事が行われています。夏休み中に工事は完了し、２学期から使用できるとのことです。

年々きびしくなる暑さに対し、子どもたちだけに耐えなさいということは無理というものです。快適な学校環境作りは行政の責務です。

こひなた保育園 青柳（4、5歳児各室）
クーラーつきました

ここ数年の暑さは異常です。東京湾岸に林立するビル群がヒートアイランド現象に追い討ちをかけているともいわれています。

一日の大半を保育園で過ごす子どもたちは、せめて食事や昼寝の時間には冷房が必要です。私は議員時代各保育園を訪問し、実際の暑さも体験して、その実態を「またか」と言われるほど議会で取り上げ、冷房のない部屋へのクーラー設置を求めてきました。

青柳保育園の４歳と５歳児の各部屋にクーラーが設置されることになりました。区の設置理由は、「高速道路沿いに位置し、窓があけられないため夏場の室内気温が40度程度になるので実施する」このことは私がずっと訴えてきた理由です。ようやく区に認識させました。

こひなた保育園は、４歳と５歳児の各部屋と遊戯室にクーラーが設置され、暖房機も故障しているのであわせて実施するとのことです。保育者や保護者のみなさんの長年の要求が実現して本当にうれしいです。

水道保育園など実施予定が決まっていない保育室にも早期にクーラーがつくよう働きかけていきたいと思います。

江戸川橋交差点
視覚障害者用音響信号をと要望

視覚障害のお子さんを持つお母さんから、「盲学校へバスで通学しているが同伴者がいないと江戸川橋の交差点は横断できず、子どもだけのときは地下道を利用している。江戸川橋交差点に音の出る信号機を設置してほしいとの要望書が区に出されました。（私も微力ながら尽力しました）

区からの回答は、「大塚警察署、東京都第一建設事務所、文京区の３者で江戸川橋交差点に会合し、交通実態等の調査協議を行いました。**音響信号機の必要性が高いので、**大塚警察署より警視庁交通管制課に**信号機を音響信号機に変更するよう**上申する。交差点歩道の展示ブロックが途中で終わっているので地下鉄入り口の点字ブロックに連結する工事を行います。時間がかかる場合もありますが**ご要望にはお応えできるもの**と存じます。」とあり、安全な交差点にむけて一歩前進しました。

憲法九条今こそ旬（しゅん）

アーミテージ米国務副長官が「憲法九条が日米同盟の妨げ」と公然発言するなど憲法改悪の危機が迫るなか、「あらためて憲法九条を激動する世界に輝かせたい」と、日本の知性と良心を代表する九人の文化人が呼びかけ人となって「九条の会」がつくられました。発足記念講演会が七月二四日開かれ、呼びかけ人の、井上ひさしさん（作家）は「最後の何人になろうとも九条を守り抜く決意」とあいさつ。憲法改悪反対の大きな流れが動きはじめました。

他の呼びかけ人は、三木睦子さん（三木武夫記念館館長）、梅原猛さん（哲学者）、大江健三郎さん（作家）、奥平康弘さん（憲法研究者）、小田実さん（作家）、加藤周一さん（評論家）、澤地久枝さん（ノンフィクション作家）、鶴見俊輔さん（評論家）。

「しんぶん赤旗」より

文京の皆様には、猛暑の中、日夜わかたぬご奮闘をいただき、本当にありがとうございました。

全国的にも、また東京選挙区でも、残念な結果になりましたが、年金改悪の中止、消費税増税反対、憲法改悪阻止などの日本共産党の主張は、今後に生きるものと確信しています。

私は、公約の実現と、いのちを守る、国民が主人公の政治に転換するため、引きつづき全力をつくす決意です。

今までの二倍、三倍がんばりますので、どうぞ応援してください。

二〇〇四年七月十二日

日本共産党参議院議員　小池　晃